

平成 16 年度
光 市
バランスシート
行政コスト計算書

平成 17 年 11 月
山 口 県 光 市

はじめに

地方財政は、景気の低迷、恒久的減税などの影響による税収の落ち込み、さらには、数次の経済対策による公債費の累増など極めて厳しい状況となっています。一方、地方分権が実行段階に入らる中で、地方自治体は、自主的、主体的なまちづくりを推進するため、事務事業の見直しや効率化、情報化の推進等による市民サービスの向上など行政改革への積極的な取り組みを求められています。

このような状況にあつて、経済戦略会議が平成11年2月に行った答申「日本経済再生への戦略」の中で、公的部門への企業会計導入の必要性が指摘され、公営企業等では既に導入されているバランスシート（貸借対照表）作成に着手する気運が高まりました。

これを受け、自治省（現総務省）が平成12年3月に「地方公共団体の総括的な財政分析に関する調査研究会報告書」において、自治体がバランスシートを作成する場合の作成基準を公表しました。また、平成13年3月の同報告書で行政コスト計算書の作成基準を示したことにより、全国的に作成する自治体が増えてきたところで、これまでも旧光市についてはバランスシート、及び行政コスト計算書、旧大和町についてはバランスシートを公表していました。

このたび、平成16年10月4日、旧光市と旧大和町が合併して「光市」が誕生し、合併後の平成16年度決算が終了したことから、新しく「光市」として総務省の作成基準に基づきバランスシート、行政コスト計算書を作成しました。

これから新しい「光市」のまちづくりを進めるにあたっては、市民参画や市民との協働が不可欠であり、これらを一層進めていくためには、市の財政状況を様々な角度から市民の皆様に分かりやすく説明するなど、情報の共有化を図っていく必要があります。この面からもバランスシートは有効な手段であります。

今後もバランスシート、行政コスト計算書について、より詳細な分析を加えながら、市の財政状況について市民の皆様に分かりやすく説明することに努めていきたいと考えています。

目 次

〔バランシート〕

バランシートの作成にあたって	1 頁
平成16年度バランシート	6 頁
バランシートからわかること	7 頁
資料編	13頁

〔行政コスト計算書〕

行政コスト計算書の作成にあたって	19頁
平成16年度行政コスト計算書	23頁
行政コスト計算書からわかること	25頁

